

移住定住の現状と課題についての

申 入 書

令和4年3月29日

中津川市議会 総務企画委員会

「移住定住の現状と課題についての申入書」

中津川市の総人口は、平成7年の85,387人（合併前の市町村全人口）をピークに減少傾向にあります。

中津川市の少子高齢化と人口減少による地域活力の低下に歯止めを掛けるため、総務企画委員会では「移住定住」をテーマに取り上げ、所管事務調査、市民と議会の対話集会を踏まえ、下記のとおり申入れをします。

1. 中津川市の良きの戦略的な情報発信

- ・「豊かな自然」、「子育てしやすい」、「住む人の人柄」、「便利過ぎない不便過ぎない丁度いいまち」、「土地や建物がリーズナブル」等、中津川市の良きを再検証して全国に情報発信していただきたい。
- ・リニア開業に関し、大きな期待の声がありました。リニア開業後のまちづくりや中津川市の将来展望が、移住・定住につながるよう、魅力あるまちづくりの方向性や基本コンセプト等、市の方針を目に見える形で示し、市民・移住定住希望者に対して、情報発信していただきたい。
- ・移住希望者の最初の取り掛かりは、ホームページからであり、情報発信の手段、内容、移住希望者のニーズの把握など、情報戦略について再度検証し構築していただきたい。
- ・市の情報戦略については予算措置も含め、民間のノウハウを活用した戦略的な情報発信をしていただきたい。

2. 窓口体制の充実・強化

- ・市役所内の「ワンストップサービス化」については、再度検証を行い、「相談者に対応できる個室を設ける」「一人の担当者が、最後まで面倒を見る」等、充実していない点について改善していただきたい。

併せて、対応する職員のスキルアップにも力を注いでいただきたい。

3. 移住後の支援の拡充

- ・移住された方が、住み続けられるよう、住宅・仕事などの支援、地域での受け入れ態勢の充実を図っていただきたい。

4. 移住・定住施策の充実

- ・移住・定住施策については「日本で一番いい」「日本のここにしかない」と思わせる施策を思い切って打ち出すことが必要である。今住んでいる方が、住み続けたいと思える施策、若者が一旦転出しても、帰ってきたいと思える魅力ある施策の充実を図っていただきたい。